



久慈拓陽支援学校
(校長 石川えりか先生)へ
VOCA ステップバイステップ、
長座体前屈測定器 寄贈



宮古恵風支援学校
(校長 藤原淳一先生)へ
楽器演奏用パチ、コンプレッサー、
Bluetooth CDラジオ 寄贈



岩手大学附属特別支援学校
(校長 安井もゆる先生)へ
ジョイント平均台、S バレーボール、
陸上スパイク、デスクカッター寄贈

すべては“未来を担う子供たちの笑顔”のために… 真に貢献する事業の実現を目指して



(公財) 日本教育公務員弘済会岩手支部 支部長 高橋 清之

今年度、より多くの児童生徒の笑顔があふれる教育活動に役立つことを願い、特別支援学級への助成に特別支援学校枠も加えた特別支援教育支援事業へと改訂し募集をスタートさせました。また、コロナ禍で限定的だった日教弘いわて出前講座の申請も増加、教弘会館売却益を有効に活用しての高校生給付奨学事業の拡大募集の実施など、「子供たちに直接届く事業の充実」という自ら掲げたミッションについても、幾つかの具体的なアプローチができた一年と振り返っております。

近年、よく用いられる「ウェルビーイング」という言葉は、生きがいや人生の意義などの精神的な面や身体的な面、社会的な面でもよい状態にあることを指すそうですが、残念ながら、国際比較調査では、「我が国の子供たちのウェルビーイングは低い」という結果も出ているようです。文部科学省が公表した2023年度における不登校児童生徒数は、小・中学校において34万6千人超、高等学校でも6万8千人超と、いずれも過去最多となり、状況としては「学校生活に対してやる気が出ない」が32%超と最も高いとのことでありました。

「**子供たちのウェルビーイング**」には、家庭・地域・社会全体や学校（教師）のウェルビーイングも大切だと言われています。夢や希望の実現、他者（家族、友人、先生、地域の人々等）とのよい関係、安心安全でよりよい環境（家、学校、地方・地域、国、世界、地球等）など、もとより学校教育において大切にしてきた“不易”の価値とも感じますが、社会全体が、利己的・物的な損得、優劣だけでは測れない「精神的な豊かさや協調的で持続性のある幸福」の価値観を共有し、未来を担う子どもたちのために、総がかりでその実現を目的としてアクションを起こしていくことは、前述した課題等の改善の観点からも大いに期待したいと思えます。

「最終受益者は子どもたち」を標榜し“青少年の健全育成に資すること”を目的として行っている奨学事業をはじめとする当会の公益目的事業は、ウェルビーイングも謳われているSDGsの基本理念「**誰一人取り残さない”持続可能でよりよい社会の実現”**」に通じるものであるとの自覚のもと、公益財団法人としての強い使命感をもって、今後とも信頼と負託に応えられるよう事業推進をしてまいります。



盛岡一高放送委員会に日教弘いわて特別賞

日教弘岩手支部の教育振興事業「児童生徒大会助成」で支援した中で、全国高等学校総合文化祭<放送・オーディオメッセージ部門>において最高賞にあたる最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞した盛岡第一高等学校放送委員会の活躍を顕彰し、「日教弘いわて特別賞」の表彰盾を贈呈いたしました。

祝 全国高総文祭 <放送・AM部門> 最優秀賞・文部科学大臣賞受賞 岩手県立盛岡第一高等学校放送委員会「伝え続けた,108時間」

12月4日、岩手県立盛岡第一高等学校（高橋一佳校長先生）の校長室にて、今年度、岐阜で行われた全国高等学校総合文化祭同部門で、県勢初の最高賞である文部科学大臣賞に輝いた盛岡一高放送委員会3名（阿部さん、古舘さん、石川さん）を代表して石川六花さん（2年）に、顕彰する日教弘いわて特別賞の表彰盾を贈りました。

受賞作品「伝え続けた,108時間」は、石川さんが図書館で見つけた東日本大震災発災当時の様子を記録した本をきっかけに、IBCアナウンサーやリスナーなどから丁寧に取材をして創り上げたもの。「震災当時3～4歳だった自分たちにはあまり記憶がないが、だからこそ伝えなければならない」という思いを強く抱き、作品に込めたと話してくれました。「全国で入賞できれば」という程度の気持ちだったので、最高賞との発表に本当に驚いたそうです。顧問の森先生は「全国での講評等を糧に、さらにブラッシュアップしてくれば」とさらなる飛躍への期待を語ってくれました。



（右から）高橋校長先生、石川さん、顧問森先生

全国で活躍する岩手の子供たち（児童生徒大会助成校より）

快挙！遠野中学校女子（初出場）全国中学駅伝第4位入賞



全中駅伝表彰式にて



伊藤光則監督と共に多田市長に報告

12月15日、滋賀県希望が丘文化公園で行われた第32回全国中学校駅伝大会女子の部（5区間12キロ）で初出場の遠野市立遠野中学校（堀村克利校長先生）女子駅伝チームが43分10秒で県勢女子過去最高順位の4位に入賞しました。

第1区7位で流れを作った主将の菊池恵愛さん（3年）は「チームとしては、4位に入賞できて本当に良かったです。…進学後も、インターハイや全国駅伝で活躍したいです。」と語り、第2区間6位の記録で4位に押し上げた菊池里咲さん（3年）も「1ケタ後半だと思っていたが、4位入賞にびっくりしている。なるべくトップとの差を縮めて渡したかった。高校でも駅伝で活躍できるようになりたい。」と述べ、それぞれ、次への希望・目標に向かって目を輝かせていました。

また、男子の部で初出場の花巻北中も22位と健闘。両校とも当支部の児童生徒大会助成事業の対象校となり、今回の出場に際し、助成をいたしました。



力走する第1走菊池(恵)さん

日教弘いわて出前講座

コロナ禍で限定的だった出前講座でしたが、今年度、音楽特別授業を中心に活用いただく学校が増えました。音楽担当の3名の先生には、子供たちと楽しく授業を展開いただきました。

太田代政男 先生

岩手県合唱連盟顧問

太田代政男先生は、東日本大震災津波発災後に岩手県公立学校退職校長会が制作、ご自身が作曲した「鎮魂の歌」の発表に向けて取り組んでいる高田第一中学校で直接歌唱指導をしました。

また同じく校歌の作曲を手がけた桜台小学校でも、校歌や合唱曲のご指導をいただきました。

両校のほか、福岡中、湯口小でも生き生きとした特別授業が展開され、児童生徒の皆さんが楽しく合唱に取り組みました。



陸前高田市立高田第一中学校



花巻市立桜台小学校



花巻市立湯口小学校

佐々木幹雄 先生

盛岡バッハ・カンタータ・フェライン コンサートマスター

今年度、新たに協力いただくことになった佐々木幹雄先生には、附馬牛小、金ヶ崎小、崎山小の3校をご担当いただきました。

学校からは「とてもわかりやすかった」との子供たちの感想や「否定せず楽しく巻き込んでいく指導に学ぶことができた」との先生方からの感謝の言葉も寄せられました。



遠野市立附馬牛小学校



北上市立和賀西中学校



二戸市立浄法寺中学校



花巻市立南城小学校



宮古市立花輪中学校

合唱が全く別物になりました。歩きながら歌うのも楽しみながらできましたし、何より村松先生と充実した2時間を過ごすことが出来て、本当にうれしかったです。(花輪中2年)



二戸市立金田一中学校

村松玲子 先生

岩手県合唱連盟理事長

村松玲子先生には、合唱連盟理事長等でご多用にも関わらず、和賀西中、南城小、花輪中、浄法寺中、金田一中の5校で、音楽特別授業を行っていただきました。

授業が始まると、緊張からもすぐに解放され、自分たちが上達していくことを実感できたという子供たちの喜びの声もたくさん寄せていただきました。

令和6年度 日教弘岩手支部教育実践研究論文 入賞

支部長賞

【学校部門】 紫波町立日詰小学校 (校長 森 和佳子 先生)

地域への愛着と自己肯定感を育み、未来を拓く力を高める学校づくり ～地域や県立大学生と協働する「花の虹タイム(地域学習)」を通して～

本研究は、6年間で自分や学校、地域に愛着や誇りをもち、自分の未来を切り拓く児童を育成することを目標に地域学習「花の虹タイム」の単元開発と実践をまとめたものです。校内外の組織を有効に活用しながら学校と地域の思いを共有し、児童の主体性や地域との協働を重視した取組には価値があります。



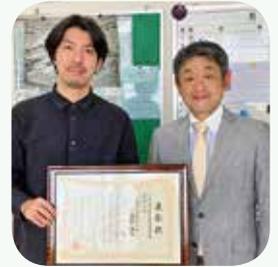
森校長先生と教職員の皆さん

6学年では「地域の人々と地域をつくる《協働》」の意識を高めることができるように仕掛け、その実践の一つである日詰商店街の職場体験では、県立大学生の協力を得て、体験場所等の選定や体験内容を決め、当日も学生が引率しながら商店街の店主とより深く交流し、職業観や人生観に触れる機会となりました。地域学習は、多くの学校でも行われていますが、SDGsの視点を取り入れたテーマ設定や、学年と教科を意識したカリキュラム編成、地域協力者の組織の活用など、大いに参考となる取組です。

【個人部門】 古舘 良純 先生 (花巻市立宮野目小学校)

働き方改革を推進する校内研究会のデザイン ～教師の「ホスト感覚」を重視した研究活動をととして～

本研究は、【働き方改革を目的とし、学級経営の安定化を目標に自走する研究活動を手段と位置づけ、教師が主体的に取り組む研究活動のデザイン】を提案し、実践しています。研究活動の柱は、「指導案検討会の簡略化」、学級経営的な視点で見る「授業交流会の実施」、「授業板書のデータベース化」「学級経営を基盤とした道徳教育の充実」などの取組です。



古舘先生と佐藤校長先生

日常の延長に位置付けた授業研究会を実施することで、授業の質が高くなり、授業研という負担感が減り、充実度の高い校内研になります。同時に、職員の間接性が育まれ、学級集団に対する見方、考え方の共通理解が進み、自ずと学級経営の安定が図られ、放課後の生徒指導対応などが減り、定時退勤する職員が増えるなど、成果も見えてきました。当事者意識を持って校内研に取り組むための方策を、様々な視点から工夫しており、他校で取り入れやすい内容を提案している研究です。

支部教育賞

【学校部門】 山田町立山田中学校 (校長 八幡 一臣 先生)

郷土の復興に協力する生徒の育成
～学校を核とした地域づくりのサイクル構築を目指して～

震災被災地の復興が進む一方で、人口減少など新たな課題が生じている中、「やまだ祭り」への全校参加を通して、地域を担っていく、将来に向けて地域づくりの中核となる人材の育成を目指した実践です。事前活動として、やまだ祭りの理解を深める「お祭りサミット」の開催、町内関係者との綿密な打合せ、多様な参加形態の選択など細やかな配慮がなされ、



八幡校長先生

また、祭り期間中は、芸能団体への担当教員の配置、当日の緊急マニュアルなど、他の学校でも参考になる取組が紹介されています。生徒会が主体となって、地域の復興のために自分たちができることを考え実行していく姿を、地域と学校が協力体制を組みながら後押しし、そのことが、地域の活力となり、将来の山田町の力へとつながっていくというサイクルができることで、本当の意味での町の復興が達成できると考えています。八幡校長先生は、今年の取り組みはそのスタートとして、来年は小学校とも連携しながら、この先、何十年と継承していける活動へと発展させていきたいと、語っておられました。

【個人部門】 千田 裕子 校長先生 (奥州市立水沢南中学校)

校長の学び一限られた時間の中で持続可能な仕組みをつくる ～個別支援チームと特別支援チームの協働を例に～

「不登校生徒の自立支援」が校長として大きな使命であると考え、その思いをこれまでの教職経験を生かしながら、課題解決に取り組んだ実践をまとめています。校長として着任1年目、多くの不登校生徒を目の前に、本物の居場所づくりから始めています。目指すものは教室復帰ではなく、生徒の自立であることを全職員で確認し、子どものニーズをもと



千田校長先生

に、自習室、学習室、プレイルームの3タイプの部屋を作り、専任の個別支援コーディネーターを中心に経験豊富な教育支援相談員等からなる個別支援チームが「不登校の初期対応→不登校個別支援」を行っています。さらに、特別支援コーディネーターを中心に特別支援チームを組織し、不登校の予防的対応を行っています。この2つのチームが日常の相談窓口になり、支援会議を通じた協働を行うことで、より生徒に寄り添った対応ができるようになりました。限られた時間の中で持続可能な仕組みとして、個別支援チームと特別支援チームの協働という視点が生かされている実践です。

令和6年度 岩手支部 事業報告(中間)

(公財) 日教弘岩手支部では児童生徒の健全育成を願い、
岩手の教育の振興と教職員の福祉向上に資する事業を展開しています

奨学事業

貸与奨学金(大学院・大学・短大・専門学校)	35名	3,275万円
高校生給付奨学金 通常募集	141名	705万円
大学生給付奨学金	8名(1,2年各4名)	144万円

※大学生給付奨学事業は、月額3万円を4年間給付する事業です。(岩手県では毎年4名採用)

教育研究助成事業

【教育団体助成】 12団体 210万円

岩手県小学校長会(前川岳詩会長)	岩手県中学校長会(小野寺哲男会長)
岩手県高等学校長協会(高橋一佳会長)	岩手県小中学校副校長会(相原伸裕会長)
岩手県高等学校副校長協議会(佐藤宣昌会長)	岩手県特別支援学校連絡協議会(近藤健一会長)
岩手県教職員組合(佐藤 工中央執行委員長)	いわて教育文化研究所(村上智加子所長)
岩手県公立小中学校事務職員研究協議会(下村 隆会長)	岩手県特別支援教育研究会(金野 治会長)
岩手県小規模・複式学校教育研究連盟(桑原玲子会長)	岩手県学校保健会養護教諭部会(加藤奈穂子会長)

【研究大会助成】 5件 45万円

第33回全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会	全国農業高等学校長協会 第149回秋季研究協議会
第75回日本中学校長会研究協議会 岩手大会	第21回東北地区中学校道徳教育研究協議会岩手大会
第30回東北地区中学校進路指導研究大会 岩手大会	

【校内研究助成】 84校 233.9万円

<校長会推薦校 70校>

桜城小学校(飯岡竜太郎校長)	盛岡・土淵小学校(及川公子校長)	中野小学校(前川岳詩校長)
高松小学校(野崎祐司校長)	羽場小学校(齋藤研一校長)	永井小学校(及川 崇校長)
北陵中学校(野原勝博校長)	松園中学校(小野寺満校長)	見前中学校(三浦 仁校長)
飯岡中学校(佐々木康隆校長)	柏台小学校(藤野 高嗣校長)	滝沢第二小学校(多田 敢校長)
御明神小学校(布田 貢校長)	小屋瀬小学校(田中 亨校長)	葛巻中学校(山根孝広校長)
一方井中学校(工藤靖夫校長)	紫波東小学校(内川千亜希校長)	矢巾中学校(佐々木敏之校長)
笹間第一小学校(浅沼清智校長)	八幡小学校(松本祥子校長)	大迫小学校(晴山光弘校長)
花巻北中学校(佐々木晋校長)	黒沢尻西小学校(佐々木修校長)	北上・南小学校(石川 晃校長)
北上北中学校(米川 聡校長)	沢内中学校(佐藤克宏校長)	岩谷堂小学校(佐藤浩司校長)
江刺ひがし小学校(藤澤周一校長)	稲瀬小学校(高橋由佳校長)	胆沢第一小学校(高橋一彦校長)
衣川小学校(古山昌幸校長)	金ヶ崎・第一小学校(佐々木美穂校長)	東水沢中学校(後藤 康校長)
一関小学校(菅原正樹校長)	花泉小学校(門田 徹校長)	興田小学校(及川祥子校長)
黄海小学校(佐々木伸校長)	長島小学校(瀧野澤公美校長)	室根中学校(菅原宰喜校長)
藤沢中学校(大川憲一校長)	盛小学校(市村康之校長)	気仙小学校(村上泰夫校長)
広田小学校(吉田和浩校長)	有住小学校(新沼 健校長)	住田中学校(遠山 秀樹校長)
甲子小学校(細田多聞校長)	唐丹中学校(金野 学校長)	大槌学園(小石敦子園長)
宮守小学校(菊池和恵校長)	附馬牛小学校(井藤 聡校長)	遠野中学校(堀村克利校長)
花輪小学校(馬場ひとみ校長)	重茂小学校(木村香央美校長)	崎山中学校(志賀 誠校長)
田老第一中学校(高橋 敦校長)	小本中学校(多田義孝校長)	林郷小学校(徳田克幸校長)
帯島小学校(飛澤克昭校長)	野田小学校(板垣 健校長)	普代小学校(黒淵博文校長)
久慈小学校(佐藤隆司校長)	宇部中学校(畠山和彦校長)	三崎中学校(中軽米央子校長)
晴山小学校(八重樫晃生校長)	一戸南小学校(若松優子校長)	浄法寺中学校(吉田 智校長)
前沢明峰支援学校(田淵 健校長)	一関清明支援学校(外館 悌校長)	専修大学北上高等学校(阿部伸校長)
一関学院高等学校(藤田一彦校長)		

<全県希望校 14 校>

長興寺小学校（女鹿芳文校長）	上田中学校（丸橋友之校長）	杜陵小学校（中村幸子校長）
沢内小学校（熊澤裕樹校長）	黒石野中学校（三浦 隆校長）	山口小学校（山火敏幸校長）
乙部中学校（小石孝紀校長）	花巻中学校（横手勝美校長）	岩泉高等学校（岩淵雅明校長）
水沢小学校（佐藤利康校長）	宮野目小学校（佐藤貞志校長）	栗林小学校（八木澤江利子校長）
二子小学校（菅原 純校長）	津軽石小学校（片方元昭校長）	

教育文化助成事業

【児童生徒大会助成】 394 件 256 万円（12 月末時点）

野田小学校 全日本小学生バンドフェスティバル東北大会出場
山岸小学校 NHK 全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール出場
小屋瀬中学校 全国中学校柔道大会出場
西根第一中学校 全国中学校相撲選手権大会出場
江釣子中学校 東北中学校バドミントン大会、水泳大会出場
大迫高等学校 全国高等学校総合体育大会自転車競技大会出場
一関第二高等学校 東北地区高等学校演劇発表会出場
三愛学舎 全国障害者スポーツ大会バレーボール競技出場

等、394 件に対して助成を行いました。（現在も申請を受付けています。）



東北大会出場の下小路中学校の生徒さんと照井校長先生

【日教弘いわて出前講座】 17 件 26.7 万円

いわて【教育の匠】講師派遣型		
南城小学校（東海林泰史校長）	湯口小学校（林 博文校長）	崎山小学校（鷹鷲三和校長）
花輪中学校（佐々木雅史校長）	侍浜中学校（佐藤 光校長）	金田一中学校（遠藤暢陸校長）
福岡中学校（中野善文校長）	和賀西中学校（藤原誠彦校長）	浄法寺中学校（吉田 智校長）
金ヶ崎小学校（最上 啓校長）	高田第一中学校（佐藤 学校長）	附馬牛小学校（井藤 聡校長）
桜台小学校（佐々木健一校長）		
外部講師型		
衣川中学校（八重畑 亘校長）	城東中学校（鈴木雅史校長）	重茂中学校（安保 学校長）
新堀小学校（小山文明校長）		

【へき地学校教育支援】 2 校 14 万円

重茂中学校（安保 学校長）	来内小学校（菅崎 晋校長）	一輪車講習会
---------------	---------------	--------

【競技等大会開催助成】 6 件 63 万円

第 75 回日本学校農業クラブ全国大会令和 6 年度岩手大会
第 74 回全国高等学校スケート競技選手権大会（スピードスケート競技）
高校生ものづくりコンテスト 2024 東北大会（化学分析部門）
第 23 回岩手県中学校総合文化祭
令和 6 年度東北中学校体育大会（ソフトテニス、アイスホッケー競技）
令和 6 年度「Try スポーツ」第 21 回岩手県特別支援学校スポーツ交流大会



全国の高校生約 2,000 名が参加した日本学校農業クラブ全国大会

【児童生徒文化・スポーツ顕彰】 2 件 6 万円

第 56 回岩手県高等学校生徒会誌コンクール表彰 （岩手県高等学校教育研究会生徒指導部会）
第 50 回岩手県高等学校演劇発表大会 最優秀生徒講評委員表彰 （岩手県高等学校文化連盟演劇専門部）



第50回記念大会で新設した「最優秀生徒講評委員」の表彰カップ（文化・スポーツ顕彰）

【支部奨励助成】 2 件 13 万円

「いわて教育の日」事業推進（「いわて教育の日」推進協議会）
図工美術教育全国研究大会 in 東北・岩手北上 2024（岩手絵の会）

【特別支援教育支援事業】 90 件 104.8 万円

<特別支援学級校 87 校>		
桜城小学校（飯岡竜太郎校長）	中野小学校（前川岳詩校長）	本宮小学校（中村宗宏校長）

山王小学校 (内田留美子校長)	緑が丘小学校 (高畑嗣人校長)	太田小学校 (澁谷 浩校長)
城北小学校 (吉田武雄校長)	高松小学校 (野崎祐司校長)	手代森小学校 (皆川晃宏校長)
津志田小学校 (川村憲弘校長)	向中野小学校 (三浦建成校長)	上田中学校 (丸橋友之校長)
城東中学校 (鈴木雅史校長)	見前中学校 (三浦 仁校長)	日詰小学校 (森和佳子校長)
紫波第一中学校 (及川 仁校長)	紫波第二中学校 (内川千亜希校長)	不動小学校 (渡邊 剛校長)
沼宮内中学校 (長島香乃子校長)	雫石小学校 (小林 満校長)	御所小学校 (堀切茂行校長)
平笠小学校 (釜石由仁校長)	田山小学校 (奥 智志校長)	篠木小学校 (藤川真人校長)
滝沢小学校 (阿部拓也校長)	滝沢東小学校 (黒瀬 敬校長)	滝沢中央小学校 (菊池正寿校長)
一本木小学校 (亀丸泰彦校長)	宮野目小学校 (佐藤貞志校長)	花巻・太田小学校 (藤田聖子校長)
東和小学校 (小口川潤校長)	大迫中学校 (小田島圭校長)	東和中学校 (岩角聖孝校長)
飯豊小学校 (佐藤加奈子校長)	和賀東中学校 (馬場美輝彦校長)	沢内小学校 (熊澤裕樹校長)
附馬牛小学校 (井藤 聡校長)	水沢小学校 (佐藤利康校長)	佐倉河小学校 (波田野誠校長)
前沢小学校 (佐藤克洋校長)	衣里小学校 (高橋 淳校長)	水沢中学校 (高橋広明校長)
胆沢中学校 (菅原文江校長)	衣川中学校 (八重畑亘校長)	金ヶ崎小学校 (最上 啓校長)
金ヶ崎・第一小学校 (佐々木美穂校長)	永岡小学校 (佐藤 真校長)	金ヶ崎中学校 (大森啓陸校長)
萩荘小学校 (熊谷浩二校長)	巖美小学校 (鈴木有希校長)	花泉小学校 (門田 徹校長)
舞川中学校 (今川 晋校長)	花泉中学校 (佐藤拓史校長)	猪川小学校 (佐々木哲校長)
大船渡北小学校 (金野 晋校長)	広田小学校 (吉田和浩校長)	小友小学校 (渡辺浩公校長)
平田小学校 (佐守直人校長)	小佐野小学校 (千田有美校長)	栗林小学校 (八木澤江利子校長)
釜石東中学校 (佃 拓生校長)	吉里吉里小学校 (藤井敏朗校長)	大槌学園 (小石敦子園長)
崎山小学校 (鷹鷲三和校長)	新里小学校 (大野 誠校長)	宮古・第一中学校 (芳賀郁夫校長)
山田小学校 (佐々木哲也校長)	小本中学校 (多田義孝校長)	久慈湊小学校 (瀧澤まゆみ校長)
長内小学校 (小関 稔校長)	小久慈小学校 (越田日和校長)	大川目小学校 (杉下奈津子校長)
平山小学校 (西野 悟校長)	侍浜小学校 (佐々木慎一校長)	宇部小学校 (齋藤光喜校長)
久喜小学校 (佐々木裕美子校長)	小袖小学校 (小室好司校長)	長内中学校 (外館邦博校長)
種市小学校 (清野直美校長)	角浜小学校 (吉田誠毅校長)	大野小学校 (久保田純子校長)
大野中学校 (古里康彦校長)	野田中学校 (菊池 勉校長)	普代小学校 (黒淵博文校長)
二戸・中央小学校 (本宮真樹校長)	奥中山中学校 (永本一志校長)	一関清明支援学校 (外館 悌校長)

<特別支援学校枠 3校>

宮古恵風支援学校 (藤原淳一校長)	久慈拓陽支援学校 (石川えりか校長)	岩手大学教育学部附属特別支援学校 (安井もゆる校長)
-------------------	--------------------	----------------------------

福祉事業 ※共済 (提携保険) 事業加入会員が対象

※件数、金額は、R6.9.30 現在

【福祉事業給付金】 53.9 万円

◎結婚祝…33 名	◎出産祝…34 名	◎永年勤続祝…※10月受付け開始
-----------	-----------	------------------

【福祉事業補助金】 242.6 万円

◎指定宿泊利用補助…256 件	◎人間ドック等受診補助…45 名	◎健康増進受診補助…25 名
◎リフレッシュ支援…423 名	◎自己啓発支援…450 件	

【福祉事業友の会費】 88.8 万円

◎リフレッシュ支援…163 名	◎自己啓発支援…140 名	◎レクリエーション参加補助…7名
-----------------	---------------	------------------

※自己啓発支援、リフレッシュ支援は、会員である教育関係者の余暇の善用となるよう、映画・展覧会等の芸術観賞券や図書カード、温泉入浴券を希望者に予算枠内で進呈する岩手支部独自の福祉事業です。

令和6年度成果報告書提出のお願い <重要>

教育振興事業に係る助成を受けた学校・団体等は成果報告書の提出が義務付けられています

- 助成を受けた学校・団体・・・令和7年2月末日締切
- 奨学金を受けた生徒・・・令和7年3月21日(金) 締切

※報告書の様式を岩手支部HPからダウンロードして、必要事項を記入の上、公印を押印して岩手支部事務局まで郵送にて提出をお願いします。(事業によっては、領収書を添付してください)

岩手支部ホームページ <https://iwate-nikkyoko.sakura.ne.jp>
提出先: 〒020-0021 盛岡市中央通3-3-1 (公財) 日本教育公務員弘済会岩手支部



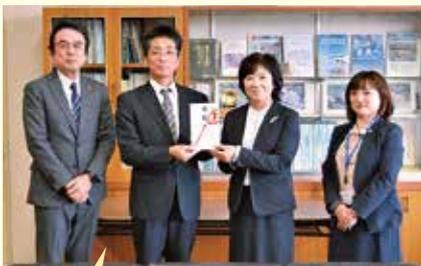
岩手支部HP

「学校応援キャンペーン」学校賞当選校へ贈呈

(公財)日教弘は明日を担う子どもたちのために、日本の教育振興に寄与・貢献する事業の拡充及び教職員の皆様の福祉向上に努めています。日頃から当会事業へのご支援、ご協力に感謝を込めて「学校応援キャンペーン」を実施しました。

全国から多数の応募がありました。岩手県内からは、**10校が学校賞に当選**し贈呈されました。

- | | | | |
|-------------|------------------|-----------|--------------|
| ● 鶺鴒小学校 | <学校用ワンタッチタープテント> | ● 世田米小学校 | <冷暖スポットエアコン> |
| ● 水沢南中学校 | <大容量ポータブル電源> | ● 平田小学校 | <高圧洗浄機> |
| ● 釜津田小学校 | <高圧洗浄機> | ● 胆沢第一小学校 | <高圧洗浄機> |
| ● 福岡中学校 | <高圧洗浄機> | ● 五日市小学校 | <高圧洗浄機> |
| ● 黒沢尻工業高等学校 | <高圧洗浄機> | ● 飯豊中学校 | <高圧洗浄機> |



● 鶺鴒小学校
黒澤みほ子校長先生・渡邊肇副校長先生に目録を贈呈しました。運動会の熱中症対策として、地域の方々に安心して参観していただくと喜んで頂きました。



● 世田米小学校
鹿糠博子校長先生に教職員の前で目録を贈呈しました。学校行事などで子供たちのために活用できると喜んでおられました。



● 水沢南中学校
千田裕子校長先生に目録を贈呈しました。授業や学校行事などでの活用を考えたと話されていました。



● 平田小学校
佐守直人校長先生に目録を贈呈しました。特にプール清掃や高所の窓・玄関周り清掃などで使用したいと話しておられました。



● 釜津田小学校
及川禎彦校長先生に目録を贈呈しました。「今まで難しかった物の洗浄ができるようになります。とても助かります。」と話されました。



● 胆沢第一小学校
高橋一彦校長先生に目録を贈呈しました。プール清掃の際に活用したいと話されていました。



● 福岡中学校
中野善文校長先生に目録を贈呈しました。本当にありがとうございます。外壁やエントランスの汚れ落とし等に役立つと、用務員さんも喜んでます。



● 五日市小学校
千田満代校長先生に目録を贈呈しました。早速、「プールじまい」に活用させていただきますとのことでした。



● 黒沢尻工業高等学校
村上智芳校長先生に目録を贈呈しました。授業では実習や作業も多いので、様々な場面で活用させていただきますと話されていました。



● 飯豊中学校
八重樫満校長先生に目録を贈呈しました。高圧洗浄機の購入を検討していましたので、贈呈いただき大変ありがたいと話されていました。

教職員のための教弘保険

教職員相互の助け合いを目的に開発され、
70年以上にわたる歴史を持つ共済制度です。

- 集団契約特約を付加することにより、**低廉な保険料!**
- 教職員の相互扶助を目的とした保険で、**保険料は年齢・性別にかかわらず一律!**
- 教弘会員として「**各種祝金**」「**宿泊施設利用補助**」など**特典を利用!**

日教弘は約75万人の会員で、そのうち約52万人加入の教弘保険契約者配当金で各種教育振興事業を展開し、子ども・学校の為に大きく貢献しています。



<p><加入例> 22歳</p> <p>死亡・高度障害のとき 3,000万円</p> <p>34歳以下の方に ユース教弘保険 (災害割増特約付/集団契約特約付勤労保険)</p> <p>月払い保険料 4,539円</p>	移行	<p><加入例> 39歳</p> <p>死亡・高度障害のとき 3,000万円</p> <p>35歳以上の方に 新教弘保険A型 (集団契約特約付勤労保険)</p> <p>月払い保険料 10,530円</p>	加入	<p>80歳まで継続できます 新教弘保険K型 (5年毎更新) (集団契約特約付勤労保険)</p> <p>●保険料は年齢別・男女別で異なります。</p>
---	----	--	----	---

22歳加入 → 保険料払込期間(15年間) → 39歳加入 → 保険料払込期間(65歳まで) → 65歳加入

<保険料例>

●ユース教弘保険の保障期間は加入年齢により異なります。

加入口数	10口	20口	30口	40口	50口
保 険 金 額	1,000万円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	5,000万円
ユース教弘	1,513円	3,026円	4,539円	6,052円	7,565円
A型教弘	3,510円	7,020円	10,530円	14,040円	17,550円

生命保険に対して、
こんなイメージを
持っていませんか。



死亡時に保険金を受け取る。
だから自分が保険金を
受け取ることはない。

教弘保険は死亡だけでなく、高度障害時にも支払われます。

また、リビング・ニーズ特約により、生きているうちに保険金を受け取ることもできます。

高度障害保険金(給付金)

高度障害状態については、ジブラルタ生命担当(ライフプラン・コンサルタント)にご確認ください。

リビング・ニーズ特約(給付金)

被保険者の余命が6か月以内と判断される場合、会社の定めるところにより、ご加入者の保険金額の範囲(最高3,000万円)で死亡保険金の一部または全部を被保険者にお支払いします。(生きているうちに保険金をうけとれます)

- 詳しくは共済事業(提携保険事業) 提携会社ジブラルタ生命の担当LC(ライフプラン・コンサルタント)にお問い合わせ下さい。
- ご契約にあたっては、必ずジブラルタ生命の「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。
- 上記内容は2025年1月15日現在の内容です。

公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称(公財)日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

令和7年度（公財）日教弘岩手支部事業概要・案内

令和7年度の各事業の募集要項は、2月下旬頃に、岩手支部ホームページに掲載します。
URL [<https://iwate-nikkyoko.sakura.ne.jp/>]



高校生給付奨学生 <通常> 募集

- 【給付金額】 一人5万円（一括給付） 年度内1回のみ
 - 【応募資格】 高等学校、高等専門学校（1～3学年）、特別支援学校高等部等に在籍する生徒
 - 【推薦人数】 各学校原則2名まで
 - 【募集期間】 令和7年6月2日～8月20日（必着）
- ※募集要項は、4月に各学校宛てに送付、ご案内します。



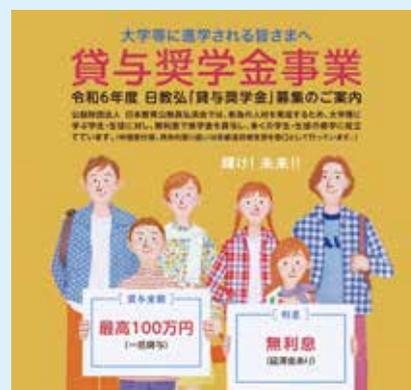
大学生給付奨学生（予約型）募集 ※令和8年度大学入学予定者対象

- 【応募資格】 高等学校等に在籍し、令和8年度に全国の大学に進学を目指す生徒
学費支弁困難（同一生計の合計所得400万未満）と認められ、かつ修学意欲に富み、かつ学業を継続できると在学する学校長の推薦を受けた生徒。評定平均値が4.0以上の生徒
 - 【募集人数】 県内4名（学校毎の推薦人数1名）
 - 【給付金額】 月額3万円 4年間（年36万円、4年間144万円）
 - 【募集期間】 令和7年6月20日～7月31日（必着） ※学校を経由しての申請となります。
 - 【選考方法】 一次選考 書類審査 二次選考 面接
- ※募集要項は、4月に各学校宛てに送付、ご案内します。



令和7年度 日教弘「貸与奨学金」募集

- 【貸与金額】 修学年限1年につき25万円、最高100万円（一括貸与）
 - 【利息】 無利息（延滞金あり）
 - 【応募資格】 大学、大学院、短期大学、高等専門学校及び専修学校専門課程に入学、在学し、学費支弁困難と認められる者（高等専門学校については4学年以上）
 - 【募集人数】 60名（岩手支部）
 - 【返還方法】 100万円の借入者は、卒業見込みの年から10年以内に年賦償還（それ以外は8年以内）
 - 【申請方法】 希望される方は、支部事務局に、申請書類をご請求ください。
※申請書類請求が受付ではありません。必要書類を事務局に提出した時点で初めて申請受付となります。
 - 【募集期間】 ※岩手支部 第1期：令和7年2月3日～3月14日（必着）
第2期：令和7年3月17日～6月3日（必着）
- ※募集要項は、各学校にポスターと一緒に送付しています。支部HPからも確認できます。



日教弘いわて出前講座

児童生徒対象とする外部講師招聘による「講演、講話、特別授業」に助成または講師を派遣します。

- 【助成内容】 ア 外部講師を招聘しての教育活動への助成
学校が独自に招聘した講師の交通費、謝金…1.5万円上限
- イ いわて『教育の匠』講師派遣
『教育の匠』に登録いただいている先生を派遣します。
講師派遣に係る費用は全て支部が負担します。

【募集枠】 アとイ合わせて30校（予定） ※原則2年連続は対象外

【募集期間】 3月3日～5月30日（必着）

※詳細並びに令和7年度『教育の匠』講師は、募集要項でご確認ください。



美術特別授業
侍浜中学校で指導する佐々木俊江先生

児童生徒大会助成

学校の教育活動に位置付けられている活動で、県大会で県代表となり、対象となる上位大会に参加する児童生徒へ助成します。(対象となる上位大会は、岩手支部ホームページでご確認ください)

【助成金額】 大会参加人数に応じて 3千円～1万円 (学校長名義の口座振込)

※同一部活動、年度内1回の助成とします。

【申請締切】 上位大会の開催前日 (事務局必着)

※詳細は、募集要項でご確認ください。



助成対象大会

へき地学校教育支援事業 ※令和4～8年度事業

へき地等級2級以上が対象で、令和4～8年度の中で、1回に限り対象として助成を受けられます。(一輪車講習会実施も含む)

【助成金額】 5万円上限

【募集期間】 令和7年3月3日～5月30日 (必着) ※同一年度内に校内研究助成と重複申請はできません。

※該当校には3月上旬に募集要項を送付します。(なお、一輪車講習会の募集は終了しました)

特別支援教育支援事業

特別支援学校及び特別支援学級の教育活動 (自立活動等) に必要な学習材 (教材・実習材料・図書等) 等の購入費を助成します。

【助成内容】 ア 特別支援学校助成 (4校程度) …8万円上限

イ 特別支援学級助成 (150校以内) …1万円上限

【募集期間】 令和7年7月1日～9月30日 (必着)

※詳細は、募集要項でご確認ください。



令和7年度 教育振興事業 申請・募集 早見カレンダー

事業	月												交付方法等	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
校内研究助成 へき地学校教育支援			←→											7～9月該当校にて交付式実施 (助成金は指定学校長名義口座振込) ※交付式では、事業説明会をお願いします。
日教弘いわて出前講座			←→											助成金交付、講師派遣
特別支援教育支援事業							←→							10月交付 (指定学校長名義口座振込)
児童生徒大会助成	←→												(指定学校長名義口座振込)	
高校生給付奨学生						←→								9月給付 (指定本人名義口座振込) ※年度により追加募集する場合があります。
大学生給付奨学生 (予約型)						←→								9月 第一選考結果通知 11月 採用内定通知
貸与奨学生		←→		←→										第1期…2/3～3/14 (必着) 第2期…3/17～6/3 (必着)
教育実践論文			←→											9月 表彰 (岩手支部) 3月 日教弘教育賞 (本部) 表彰
児童生徒文化・スポーツ顕彰														事業実施3か月前
教育団体研究助成 研究大会助成 競技等大会開催助成 支部奨励助成														※前年度申請 6月 助成金交付式 (団体長名義の口座振込)

さらに役立つ教育研究助成を目指し、令和7年度から、「校内研究助成」と「教育実践研究論文」の募集が大きく変わります！

校内研究助成

- ▶ 助成上限額を5万円に引き上げ、活用の幅が広がります。
- ▶ 助成校数を見直しました。(推薦枠と全県希望枠合わせて70校程度)
- ▶ 助成金の使途は、使途項目の中から選択するようにします。

【助成額】 1～5万円

【募集対象】 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校等 70校程度
(校長会推薦枠、全県希望枠)

※2年連続での助成は行わないものとします。

【募集期間】 令和7年3月3日～5月30日(必着)

【助成金交付】 交付式には本会役職員が訪問します。その際、事業の趣旨等を説明する場の設定をお願いします。

※助成金は指定学校長名義口座への振込となります。

【助成金の使途項目】

- ア 研究図書購入費
(研究内容と関連性の認められる諸検査費用も可)
- イ 研究会講師謝金・交通費充当
- ウ 研修会・研究会・先進校視察参加費用
- エ 研究紀要・研究集録作成費用(トナー・紙代等は不可)
- オ 研究実践活用学習材等購入費(1万円以内)

※詳細は、募集要項でご確認ください。

日教弘岩手支部 教育実践研究論文

- ▶ (支部)入賞枠が増えました。
- ▶ 応募期間を見直しました。締切は7月31日(必着)です。
- ▶ 提出書類は、本文(論文)のみに軽減しました。(支部募集のみ)
- ▶ 支部募集では、過去の入賞校・入賞者も、最短で3年に1度は応募できるようになります。

【募集対象】

- ①学校部門…各学校等及び教育機関並びにそこに勤務する教育関係者で組織する教育研究団体
- ②個人部門…学校や教育機関等に勤務する教育関係者個人

【応募要件】 ●未発表の内容のもの

- 全国または岩手支部において、過去2年以内の入賞校、入賞者でないこと。(支部応募)

※ただし、全国推薦は過去5年以内の全国入賞は対象外

【論文様式】 本文(24字×43行×2段組×A4判横書き(3～4ページ))※様式はHPからダウンロードできます。

【募集期間】 令和7年4月1日～7月31日(必着)

【全国推薦】 当該年度の岩手支部最優秀賞、優秀賞の中から、日教弘教育賞の応募要件(過去5年以内に全国入賞校・個人は対象外等)に適用となる3編以内を全国推薦します。

※詳細は、募集要項でご確認ください。

【岩手支部表彰】

- 最優秀賞(学校・個人各1編以内)
学校部門(5万円) 個人部門(3万円)
- 優秀賞(学校・個人各2編以内)
学校部門(4万円) 個人部門(2万円)
- 優良賞(学校・個人各8編以内)
学校部門(3万円) 個人部門(1万円)
- 奨励賞(上記以外から数編)
図書カード(学校5千円分 個人3千円分)

【参考】 ～日教弘教育賞(全国)～

- | | | | |
|------|--------|------------|------------|
| 最優秀賞 | 2編 | 学校部門(50万円) | 個人部門(30万円) |
| 優秀賞 | 6編 | 学校部門(50万円) | 個人部門(30万円) |
| 優良賞 | 8編 | 学校部門(30万円) | 個人部門(15万円) |
| 奨励賞 | 上記以外論文 | 学校部門(10万円) | 個人部門(5万円) |

校務のDX化等に対応するよう、各種事業のWEB申請を、順次導入していきます！2023年から岩手支部HPはスマホにも対応しています！

- ◎教育振興事業 R7年度～ 校内研究助成、児童生徒大会助成、日教弘いわて出前講座 等
- ◎福祉事業 R6年度～ 指定宿泊施設利用補助、自己啓発支援(一部)
R7年度～ 30歳誕生日祝 自己啓発支援、リフレッシュ支援 等

<教弘保険加入会員向け福祉事業案内>

令和7年度から岩手支部福祉事業のラインナップに、新たに「30歳誕生日祝」が加わります！

【対象】 当該年度30歳(2025年度から対象)の誕生日を迎える教弘保険加入会員

【祝品】 ギフトカード(5,000円相当)

※選択制(QUOカード等3種から希望する1つを選択)

【申請】 該当の会員の方にご案内するチラシのQRコードから申請してください。



岩手支部HP
(スマホ版)

